

編集後記

透析患者は導入期から心臓病を合併しやすいため、多くの透析施設では循環器専門医と連携する機会が増えています。ただ、こういったタイミングで連携するのがよいのか、判断に悩む場面も少なくありません。

本誌で「心臓病の特集」を組むのは、2010年5月号（タイトル：透析患者の心臓—心臓病による死亡を減らすために）以来です。当時の内容を見ますと、虚血性心疾患に対する経皮的インターベンション治療（PCI）、冠動脈バイパス術（CABG）、薬物療法として β 遮断薬とACE-I/ARB、不整脈治療などが取り上げられていました。さらに、透析患者では大動脈弁や僧帽弁輪の石灰化が多く、血液透析患者では大動脈弁狭窄症の進行が速いことがすでに記載されていました。

幸い、この10年間で冠動脈疾患に対するPCI

治療の成績は向上し、死亡や脳卒中、冠動脈再狭窄などの合併リスクは減っています。さらに、最近では心不全に対する薬物・補完的な治療や心臓弁膜症に対する経カテーテル治療などが登場し、心臓病治療は大きく変容しています。しかし、透析患者を対象とした大規模研究が少ないため、今後はこれら治療の有用性と安全性を明らかにしていくことが課題となっています。

本特集では、各領域のスペシャリストから心臓病治療の最前線について解説いただき、透析患者における現状とその課題をまとめていただきました。本特集を一読いただくことで、最新の心臓病治療をご理解いただけますので、是非、循環器専門医と連携する際などにご活用いただけると幸いです。

（加藤 明彦）

2022年（Vol. 38）特集のご案内

No.① 透析患者の心臓病—診療の最前線を学ぼう

No. 2 腎性貧血治療の課題と対策

No. 3 多職種連携による透析医療

（既刊は○）

臨牀透析® Vol.38 No.1

© 2022年1月10日発行
定価：2,860円
（本体2,600円＋税10%）

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2022, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541